

2-1. NIPPON DATA2010 実行ワーキンググループ報告

リーダー・イベント判定委員会委員長

研究分担者 大久保孝義（帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授）

サブリーダー

研究分担者 宮本恵宏（国立循環器病研究センター予防健診部 部長）

メンバー・追跡委員会委員長

研究分担者 門田文（滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任准教授）

イベント判定小委員会

脳卒中イベント判定小委員会

- 研究協力者 清原 裕（公益社団法人 久山生活習慣病研究所 代表理事）
研究協力者 寶澤 篤（東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門 教授）
研究協力者 二宮 利治（九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野 教授）
研究協力者 有馬 久富（福岡大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授）
研究協力者 中村 幸志（北海道大学大学院医学研究院社会医学分野公衆衛生学教室 准教授）
研究協力者 高嶋 直敬（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 助教）

心疾患イベント判定小委員会

- 研究分担者 宮本 恵宏（国立循環器病研究センター予防健診部 部長）
研究協力者 大澤 正樹（盛岡つなぎ温泉病院 診療部長）
研究協力者 東山 綾（国立循環器病研究センター予防医学・疫学情報部 室長）
研究協力者 久松 隆史（島根大学医学部環境保健医学講座公衆衛生学 准教授）
研究協力者 鳥居さゆ希（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 客員助教）

糖尿病イベント判定小委員会

- 研究分担者 門田 文（滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任准教授）
研究協力者 八谷 寛（藤田保健衛生大学医学部公衆衛生学 教授）
研究協力者 大西 浩文（札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 教授）
研究協力者 櫻井 勝（金沢医科大学医学部衛生学講座 准教授）
研究協力者 浅山 敬（帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 准教授）
研究協力者 平田 匠（東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門 講師）
研究協力者 宮澤伊都子（滋賀医科大学内分泌代謝内科 医員）

1. NIPPON DATA 2010 実行ワーキンググループの目的

我々は2010年、同年実施の国民健康・栄養調査の受検者を対象に、従来国が実施してきた循環器疾患基礎調査の後継調査として「循環器病の予防に関する調査（NIPPON DATA 2010）」を実施した。また、将来の健康状態（循環器疾患等の生活習慣病の発症、死亡）の追跡に関する同意を得た者を対象として、2011年より調査票の郵送を中心とした生活習慣病や循環器疾患の発症調査と、人口動態統計を利用した生命予後追跡調査を開始した。また、発症調査の自己申告結果に基づき、脳卒中、心疾患〔心筋梗塞・PCI・心不全・不整脈（主に心房細動）〕、糖尿病の発症が疑われる症例について、医療機関への問い合わせを行った。また、それらの情報に基づき、イベント判定委員会を開催し、発症か否か、発症である場合は診断名および診断の確実性を判定した。

本ワーキンググループの目的は、上記の発症追跡調査・医療機関調査・イベント判定を継続実施することである。

2. NIPPON DATA 2010 実行ワーキンググループの構成

構成・メンバーを前ページに記載した。イベント判定小委員会では、脳卒中、心疾患、糖尿病のそれぞれについて、臨床・疫学研究、地域登録などで実績のある研究分担者・研究協力者により、3つの小委員会を構成した。

3. NIPPON DATA 2010 追跡委員会の活動

2018年度は、昨年度実施した第7回の健康調査の回収数確定、および第8回の健康調査を行った。また、初年度以降実施している医療機関への二次問い合わせを継続するとともに、イベント判定委員会の求めに応じて医療機関への追加情報問い合わせを行った。なお、当初は、10年目の追跡となる2020年の追跡調査時にADL等を含めた拡大調査を予定していた。しかしながら、別途NIPPON DATA 2020のベースライン調査を2020年に実施するため、NIPPON DATA 2010の拡大調査は前倒して2019年に実施する予定である。

第8回（2018年）発症追跡調査

1. 目的：発症追跡対象者の発症の確認
2. 調査対象：調査票発送数 2358人
3. 調査内容：例年どおり
4. 調査票初回郵送 平成30年10月1日～10月31日
5. 調査手順：調査票の郵送

未回収の場合は3週間毎にリマインダー葉書郵送→調査票再送→電話で聞き取り⇒宅配

6. 調査準備：

①ND通信 ②調査手順マニュアル改訂 ③調査票作成 ④ファイルメーカー準備

7. 回収数：2266名より回収(回収率96%)(2019年2月18日時点)。

第8回追跡調査実務担当者

鈴木春満、岡見雪子、山内宏美、瀬川裕佳、布施恵子、志摩梓、Pham Kim Tai、
和氣宗、吉田稔美、船木彰子、近藤慶子、門田文

4. NIPPON DATA 2010 イベント判定委員会の活動

イベント判定の流れ

発症調査の自己申告結果に基づき、脳卒中、心疾患〔心筋梗塞・PCI・心不全・不整脈(主に心房細動)〕、糖尿病の発症が疑われる症例について、医療機関への問い合わせを行った。

回収された医療機関調査票記載内容により、新規発症の可能性があると考えられた症例について、1イベントにつき、異なる2名の判定委員に判定を依頼する形式で、イベント判定作業を実施した。

このうち、判定委員より判定を行う上で必要な追加情報提供の依頼があった症例に関して、追跡委員会と共同で医療機関への再問い合わせおよび事務局データベース情報検索を行ったうえで追加情報を収集し、当該イベント委員に再判定を依頼した。

2名の判定が一致した症例はイベント発症と判定した。

2名の委員の判定が一致していなかったが発症の可能性のある症例について、イベント判定小委員会を開催し、合議により判定を行った。

2018年度 イベント判定委員会

糖尿病について、2018年6月22日にイベント判定小委員会を開催した。7件について合議し、7件をイベントとして判定した。

脳卒中および心疾患については合議予定件数が少ないことから、本年度は開催せず2019年度に開催する予定である。

判定終了イベント数

脳卒中:

50 件 (脳梗塞 40, 脳出血 7, くも膜下出血 3)

心疾患:

94 件 (心筋梗塞 6, PCI 32, 心不全 23, 心房細動 23, 心房粗動 1, ペースメーカー植込: 9)

糖尿病:

54 件 (I 型糖尿病 1, II 型糖尿病 51, 二次性 2)

死因情報との突合

人口動態統計を利用し 5 年間の死因情報と突合した。

発症調査で把握していなかった心筋梗塞 3 例、脳梗塞 2 例の死亡例が把握された。

5. 今後の活動予定

発症追跡調査・医療機関調査・イベント判定を継続実施していく予定である。